

館報

おみ

1月号
No.706

2026. 1 .25 (令和8年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲米の豊作を願って ~交流センターで稲花づくり~ (1月6日撮影)

公民館クラブ紹介

今月号の特集は、麻績村公民館に登録されて活動しているクラブの一部を紹介（掲載は五十音順）します。多くが交流センターを中心に活動し、文化祭以外にも、さまざまな場所で発表して活躍しているクラブもあります。興味のあるクラブがありましたら、直接会場へ行って見学いただくか、公民館（☎六七一二二四〇）へご連絡ください。今月号に記載のないクラブについても、随時掲載していきます。

アルプホルンを吹く会

クラブの活動内容

自分で手作りしたアルプホルンを使って、曲を吹きます。冬場や天候の悪い時は、交流センターを使って練習をします。



▲文化祭芸能発表会でアルプホルンを演奏

基本的には、室外で使用

する楽器ですから聖湖のほとりや三峯山の山頂、大王わさび農場の土手の上・長峰山山頂など、アウトドアに出かけて演奏や練習をしています。フェスティバルや村の文化祭での発表、他団体との交流もしています。また、楽器が長くてめづらしいため、福祉施設でのクリスマス会や慰労会に頼まれて出かけます。

活動日時

毎週土曜日の午前九時から十一時までです。メンバーは、高音・中音・低音の各一人ずつ計三名です。

会員募集中

入会金0円、月額0円です。興味・関心のある方はご連絡ください。

愈（いよ）の会

クラブ活動の内容

三十年以上前から麻績村内で正派生田流大師範の原雅明喜先生が箏を教えてくださいます。

文化祭芸能発表会などの発表を行う前には、交流センターに集まって練習をします。不定期ですが高齢者



▲デイサービス聖で演奏

施設などからも依頼を受け、演奏活動を行っています。その他、長野市内他で演奏会にも参加しています。

活動日時と場所

毎週月曜日に「サロンド・ミヤ」さんの一室で、個別に先生からご指導いただいています。

個人だけでなく、皆で合奏も楽しいです。



▲メンバーの皆さん

紙芝居の会

紙芝居の会は、平成八年に発足し、今年おかげさまで二十周年となりました。

麻績村の歴史・文化・産業や語り継がれている昔話を紙芝居にして後世に伝えていく目的で発足されました。創作紙芝居を含め、十三作品となりました。新



▲麻績学舎で紙芝居制作

型コロナウイルス感染症で一時活動を休止した時期もありましたが、現在九名の会員でなんとか活動を続けています。昔話を記憶するお年寄りの方々からお話を提供いただき、今も紙芝居制作をしております。また、高齢者施設のボランテアや小学生との交流会、文化祭参加などの活動も続けております。

この二十年間の活動で麻績村の昔を知ることができましたし、上演することで高齢者の皆さんが昔を懐かしく思い出し、語り合う様子を見るたびにやりがいを感じます。そして何よりうれしかったことは、小学生が麻績村のふるさと学習で取り上げてくださり、成果



▲麻績小四年生と紙芝居で交流

の発表をみせていただいた時は、本当に活動の意義を感じ、感動しました。ですが、高齢化により会員も発足の四分の一に減少してしまいました。何とか、紙芝居の楽しさなども伝えたいと思ひ、語りの勉強を兼ねて、麻績学舎での例会や中町の花屋で「夜の紙芝居」などを行っております。一人でも多くの方々に麻績村の昔を伝えていきたい。同時に紙芝居の魅力も知っていただきたい。そう思っております。「昔を語り合いたい方」「紙芝居を声に出して読んでみたい方」「紙芝居を塗り絵みたいに描いてみたい方」、どなた

でも大歓迎です。お待ちしております。

伝統芸能勉強会

昨年発足したグループです。伝統芸能を掘り起こし、勉強する会です。

昨年の第一回は、文化祭芸能発表会で銭太鼓を発表しました。盆踊り、大正琴、日本舞踊など、お子さまにも楽しく出演してくれればと、童謡の舞踊も指導いたします。楽しく集まって稽古ができれば良いと考えております。

月に二回、週末に交流センターで開催予定です。その節は、お気軽にお出かけください。お待ちしております。



▲文化祭芸能発表会で銭太鼓を発表

日曜画家倶楽部

私たち日曜画家倶楽部は、毎月第二、四日曜日の午後二時から四時まで交流センターで絵を描いています。読み方は「日曜画家クラブ」ではなく、「日曜画家ークラブ」です。趣味の大工仕事を日曜大工と呼ぶように、売るための絵ではなく自らの心の平穩のために描いている私たちは、日曜画家です。

本来絵を描くことは自己と向き合う個人的な作業、サークルではなくてもできるのですが、とかく家では雑事に追われがち、ついつい居眠りやネットなんてこともあります。月二回二時間、集中できる空間があることはありがたいこと、情報交換もできます。そして年に一度の文化祭展示、人目にさらされる緊張感も必要です。「絵が描けない！」って言う人は、よくいます。でもスマホで写真は撮るでしょう？ 写真に写らないもの



▲文化祭に展示した作品

ってありませんか？ その時の雰囲気とか、おかしみとか、それを絵にしてみませんか？ 上手でなくても良いのです。色で遊ぶか線で遊ぶか、毎月第二、四日曜日の二時から、お茶代百円をもつてのぞいてみてください。七〇年代の洋楽を流しながら気軽に絵を描かしています。

ピアノを楽しむ会

目的及び活動内容

どんなタッチで弾いても良い音を奏でることができ、ピアノを弾き、ピアノを良い状態に保つことです。

会員数

ピアノを弾いた経験のある方が四名です。

活動時間と場所

毎週木、金曜日の午前十時から正午までのうち、会員の都合の良い時間帯で、地域交流センターのピアノを弾きます。

文化祭芸能発表会

文化祭芸能発表会への参加は自由です。

活動の成果

ピアノの調律師さんから、



▲交流センターでの練習風景

ピアノの音が良くなったと評価されました。

のどの筋肉を鍛えよう！ ボイストレーニング教室

ボイストレーニング教室を一月二十四日に交流センターで開催し、二十八人が参加しました。



▲リズムに合わせてのどを鍛えよう

講師にスポーツボイスマスタートレーナーの資格を持つ伊藤きくみさんを迎え、音楽に合わせて体を動かしつつ腹式呼吸で声を出し、のどの筋肉に負荷をかけるトレーニングを行いました。この筋肉は食べ物や飲み物と一緒に使われるものと同じで、むせこみや誤嚥（ごえん）性肺炎の防止にも役立つも

のですが、伊藤さんの説明も楽しく、次回の開催を望む声もありました。

麻績保育園どんど焼き

麻績保育園のどんど焼きが一月八日に行われました。やぐらは園児も協力して組み上げ、さらに「無事卒園」「無病息災」「毎日笑顔」などといった、園児と保育士の書き初めを一緒に取り付けました。



▲健康と幸せを願って

火を点けると大きな火柱が上がり、火が収まると、お餅を焼いて食べ、一年の健康と幸せを願いました。

第八回麻績学級

第八回学級は、ニュース

ポーツの「ラダーゲッター」で、中信教育事務所学級の共創課スポーツ指導主事の高木潤一さんを講師に迎えて一月二十三日に交流センターで開催し、八人が参加しました。



▲皆さんとても上手です

チーム戦で先に二十一点になったチームが勝ちで、点数を超えないように調整する必要があります。次第に上手になって指定の場所へ点数が取れるようになり、接戦を繰り広げながら楽しんでプレーしていました。

冬でも元気いっぱい おみっこ元気くらぶ

おみっこ元気くらぶでは、

スノーパークを一月十七日に聖高原で行い、九人の子どもたちが参加しました。

まず、信州大学教育学部YOU遊未来（チャンス）の皆さんと一緒に、聖高原自然歩道を通って三峯山の山頂まで雪山歩きをしました。雪の登り坂でしたが、雪合戦をする場面もあり、元氣よく登っていました。山頂に着くと、三峯山から望む雪景色を見て感動していました。

下山後の聖湖畔でのソリ遊びは、おのおのが自分スタイルでソリに乗り、スピードや滑走距離を競って楽しんでいました。



▲三峯山頂で記念撮影



正月の気配が少しずつ薄れ、日常のリズムが静かに戻ってきました。朝夕の冷え込みは続いています、

晴れた陽の光には、どこか柔らかな感じがられます。村内各地で行われたどんど焼きでは、正月飾りや書初めが炎に包まれ、一年の健康や無事を願う人の姿が見られました。火を囲むひとは時は季節の区切りをそつと知らせてくれるようです。

二〇二六年は、干支でいう丙午（ひのえうま）の年に当たります。前に進む年といわれますが、急ぐことなく足元を確かめながら進むことも大切だと感じます。寒さの中で春を待つ今の時期を大切にしながら、日々の小さな積み重ねがこの一年を静かに支えていくのではないのでしょうか。変わらない景色の中にある小さな変化に目を向けて過ごしていきたいものです。

（公民館長）

元気通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

今年度、麻績小学校三年生は、総合的な学習の時間で、麻績村に四十年以上続いている、聖太鼓に出会いました。

そして、聖太鼓の方々から、たくさんのお話を学んでいくにつれて、太鼓が大好きになり、自分たちの太



▲麻績学舎で練習



▲大好きな聖太鼓で麻績村を元気にしたい

鼓で、「麻績村の人たちが元気になってほしい」という気持ちを含めて「おみ村おうえんだいこ」という名前をつけ、活動をしてきました。

クラスの皆で「どんな演奏が麻績村の人を元気にできるのか」「もっと揃った演奏にするにはどうすればいいか」と、意見を出しながら練習していきました。

村の収穫祭やお年よりの皆さんの前で発表する機会でも、お客さんの笑顔をたくさん見ることができ、とても素晴らしい経験になりました。

見守ってくださいました、聖太鼓の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

筑北中学校

アンサンブル コンテストを終えて

一年 飯森元喜

僕は、アンサンブルコンテストを終え、仲間と音楽を作る難しさと楽しさを知りました。

練習の時間では、基礎練習・自主練・合わせを毎回やりました。本番の直前になって、ロングトーンという練習を追加でやり始めましたが、始めるのが遅かったのと、本番では緊張もあり、



▲吹奏楽部 壮行会の様子

あまりうまく演奏できませんでした。音もカスカスで、練習不足を痛感しました。結果は銀賞でしたが、結果だけでなく、支え合いながら練習してきた時間を大切に、これからの演奏に生かしていきたいです。

議長を終えて

三年 中村隼人

私は、一年間議長を勤めて印象に残った事が、二つあります。

一つ目は、生徒総会の議

長です。初めて進行を行った時には、とても緊張していましたが、二回目には、全校の様子を把握しながらスムーズに進行できるようになり成長を感じたからです。

二つ目は、全校交流集会です。初めて評議員会として企画を立て、不安もありましたが、当日は、計画通りにしっかりと進んだからです。この一年間でとても良い経験になり、成長につながりました。



▲議長 生徒総会の様子

麻績の神社と 鎌信仰について

(その十四)

矢倉諏訪神社について

(続き)

七、大福寺と さすらいの仏

(一)大福寺について

終南山悟真光明院善導寺(浄土宗)の往古の寺名、七堂伽藍の大刹であったという。

文永九(一二七二)年現在の寺名に改称されている。応安元(一三六八)年裏山が崩れ、諸堂地中にうもれたという。史料が全く残っていない寺である。

地名に「大福寺」、「寺ウラ山」がある。

(二)さすらいの仏・阿弥陀如来坐像について

愛称「丈六さま」という。

この像は、貞観八(八六六)年、筑北村坂井の国の支援がある定額寺、定額山安養寺の仏であったというが、故あって、大福寺の本尊になったという伝承があ

る。

応安元(一三七七)年の山崩れ、元禄十一(一六九八)年には火災にみまわれ、下井堀の丈六堂(高村の飛地)に避難する。

一〇五年後の享和三(一八〇三)年再建されるが、善導寺(大福寺)へ帰参は叶わなかった。理由は定かではない。

明治二十二(一八八九)年町村制施行に伴い、集落分合により、丈六堂の住所は、麻績村になることから日向村高へ遷座する。

昭和三(一九二八)年一月二十三日、国宝指定申請をするが、同年六月却下された。

聖博物館へ昭和四十(一九六五)年六月五日から昭和四十二(一九六七)年九月三十日まで「学術研究」のためと称して、二年間の年季奉公をした。代償は酒一斗だという。

昭和六十一(一九八六)年十一月、村宝(有形文化財)に指定された。

現在は、高区の虚空蔵堂に虚空蔵菩薩とともに安置

し、日向神社の祭典と併せて春秋に祭典が行われている。

(三)丈六さまの謂れ

広辞苑には「一丈六尺」。また仏身(釈尊)は一丈六尺あったとされ、この大きさにつくられていた仏像をいう。

ただし、原則として結跏趺坐(あぐら)の姿にしているので、その座高八尺ないし九尺が標準と記している。「丈六尺」と解釈すべきという学者もいる。「丈六さま」は愛称で、阿弥陀如来坐像が本地である。「行基」作と伝えられている。造顕年代は、藤原末期か、鎌倉初期の古仏であるが、補修の後がいくつか認められるという。

八、矢倉神社の 御柱祭について

村唯一の御柱祭である。

七年に一度春祭りと一緒に区民総出で行う。

御柱は伝統的に二本である。まわりに「さか木」四本を立てるのが特徴である。最近では令和四(二〇二

二)年四月二十四日行われた。館報おみ同年四月三十日に発行された六六一号と、二十六日の市民タイムスに掲載されている。掲載時点から一四年前の明治四十一(一九〇八)年に行われた記録がある。

九、矢倉諏訪神社の宝物

麻績村唯一の伝統祭として継続が望まれる。

村誌上巻に二件の宝物が記されている。

(一)棟札「正徳元(一七一一年)九月十二日」
棟札は、上棟祭に使われるもので、後々の記録として祭儀の後棟木に打ち付けられる。

表面に祭神名、神社名、新改築の別、地名、建物名を、裏面に施行年月、神職名、棟梁名、施主などを、桧材等の板に墨書きしたものをいう。

日本史年表によれば、正徳元(一七一一年)の四月二十五日からである。前記由緒の「宝永七(一七一〇)年八月：現在地に神殿を造営し、遷宮した」とあ

る。宝永は、一七一一年の四月二十四日までである。上棟祭は、正徳元(一七一一年)九月十二日に挙行されたのである。

(二)日本記「神代抄七冊寛永七(一六三〇)年庚辰歳年九月」

日本記は、日本の歴史を記した書で、六国史【りつこくし】をいう。

奈良・平安時代の七〇一年から九〇一年に朝廷で編集された日本書記(七二〇年)をはじめ、六つの国史をいう。

神代【じんだい・かみよ】は、日本で神武天皇即位以前の神が支配したという時代をいう。

抄は「書き写す」「抜き書き」することである。なお、寛永七年の干支は庚午である。

麻績村唯一、四〇〇年前の貴重な史料である。防虫対策など適切な保存が望まれる。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

おみ 図書館

園児向け冬のお話会

昨年十一月に、紙芝居を中心としたお話会を行いました。お話をしてくださったのは、筑北村の村西京子さん。紙芝居「どっちだ？」(童心社)をはじめ、他にもクイズや手品を披露してくださいました。

参加した麻績保育園の園児たちは、真剣にお話に耳を傾けたり、クイズを当てて喜んだり、手品に驚いたりして、心からお話会を楽しんでいました。



▲ページをめくると真っ白だったページに絵が!

冬のお話会も語りを楽しむ夕べも開催
村内にお住いの、和田孝

子さんと塚原富美江さんを講師にお招きして、十二月六日に語りと絵本の朗読を楽しむ会を行いました。



▲しっとりと声が響きます

語りは「雪女」「あと隠しの雪」。冬にこそ聞きたい、それぞれに愛情深い人物のお話が、和田さんの澄んだ声で情感豊かに語られました。

絵本はメアリー・リン・レイ作「満月を待つて」。前日のビッグムーンに合わせたかのように、自然とともに暮らす少年の成長物語が、心に染みる内容でした。



▲季節に合わせた手遊びをご一緒に

会の終了後、講師を囲んでの茶話会を行いました。コロナ禍以降、久しぶりの開催でした。山ぼうしさんのコーヒールをいただきながら、参加された皆さんとお話の花を咲かせることができました。



▲ケーキでクリスマスの雰囲気を楽しみました

私の本棚
地域の皆さんにおすすめの本を紹介して頂くコーナー。

▼小学校児童書

順位	書名	著者
1	おすしかめんサーモン3	土門 トキオ
2	おしりたんでい かいとうアカデミームーンサイト	トルロ
3	がっこうのおぼけずかん	斉藤 洋
4	にんたま、ドクたまドクロ城にしのびごめ	尼子騒兵衛
5	一さつのおくりもの	森山 京
6	きみの存在を意識する	梨屋 アリエ
7	じごくでラーメン	山本 省三
8	科学探偵V.S.闇のホームズ学園	佐東 みどり
9	5万後、5秒後に意外な結末	桃戸 ハル
10	わかったさんのアイスクリーム	寺村 輝夫

▼小学校絵本

順位	書名	著者
1	しりとりしましょ!	さいとう のぶ
2	りんごかもしれない	ヨシタケシンスケ
3	バムとケロのもりのこや	島田 ゆか
4	ノラネコぐんだんそらをとぶ	工藤 ノリコ
5	ぼくのがっこう	鈴木 のりたけ
6	大ピンチずかん 3	鈴木 のりたけ
7	ぬまの 100 かいだてのいえ	いわい としお
8	いちにちおぼけ	ふくべ あきひろ
9	どんめくり	やぎ たみこ
10	やなせたかし物語	やなせスタジオ

今回は十一月まで横屋にお住まいだった飯森ひろ子さんにお願いました。お引越しの準備で忙しい中、快くお引き受けいただき感謝です。
「お金に縛られない生き方働き方」と題し、飯森さんの人生観に大きな影響を与えたブラジルの教育者ウテ・クレマーさんの活動を紹介する本など、示唆に富んだ本が並びました。
ご利用お待ちしております。
麻績小学校・筑北中学校
ベストリーダー
二〇二五年に小中学校で多く読まれた本を紹介します。

中学校

第一位 キオクがない! いたとうみく著



文研出版

第二位 たゆたう 長濱ねる著

第三位 KADOKAWA Z世代のネオホームレス 青柳貴哉著

前月の図書館



来館者数 403人
貸出冊数1002冊
ご来館ありがとうございます。

KADOKAWA



麻績消防署からの
お知らせ

○「林野火災注意報・警報」
の運用が令和八年一月一
日から始まりました

林野火災注意報・警報は、
林野火災が発生しやすい気
象条件の時、火災の発生を
防ぐために注意報及び警報
を発令します。発令中は、
屋外での火の取扱いに制限
がかかります。

○林野火災に関する注意報
・警報が発表されたら？

注意報・警報が発表され
た場合、以下のとおり「火
の使用制限」がかかります。
一、山林、原野等において
火入れをしないこと
二、煙火（花火）を消費し

ないこと

三、屋外で火遊び又はたき
火（あぜ焼きや枝葉等の
焼却を含む）をしないこ
と

四、屋外においては、引火
性又は爆発性の物品その
他の可燃物の付近で喫煙
をしないこと

五、山林、原野等の場所で
喫煙をしないこと

六、残火（たばこの吸い殻
を含む）、取灰又は火粉
を始末すること

○火の使用制限に従わな
かった場合

林野火災注意報は努力義
務を課すものですが、一方
で、林野火災警報は「火の
使用の制限」に違反した者
に対して三十万円以下の罰
金又は拘留に処することが
消防法で定められていま
す。

○林野火災注意報・警報の
発令周知について

「林野火災注意報・警報」
が発令した時は防災無線や、
消防署ののぼり旗、消防車
両等による巡回広報、災害

情報メール、ホームページ・
SNSなどで周知します。
たき火・枯草焼き・畔焼
きなどは、消防署に届出が
必要です。林野火災が発生
しないよう、今後もご協力
をお願いします。

本町区どんど焼き

本町区の「どんど焼き」
が、一月十一日に筑北中学
校第二グラウンドで行われ
ました。

当日は朝から小雪が降る
中、育成会の皆さんを中心
に松を集め、年番さんが土
台を作り準備完了。

本町はその年の年男年女
が代表して点火します。今
年は五年生二人が点火して、
どんど焼きが始まりました。
熾火になるまで待てない子
どもたちは、暖を取るため



▲立派にできました



▲無病息災を願いお餅を焼く



▲マシュマロを焼こう

に準備されたドラム缶の火
に、用意されていたマシユ
マロと新たにウインナーも
登場し、それぞれ枝に付け
焦げ具合などを見せ合いな
がら楽しんでいました。大
人たちも、いろいろな種類
のサツマイモの差し入れが

たくさんあり、お餅だけで
なく、焼き芋もその場にい
ただき、一年間の無病息災
を祈りました。



お誕生おめでとう



伊藤いのりちゃん
恵悟・里奈
(菅の沢)



市川颯真ちゃん
透・彩季
(菅の沢)

ご冥福を祈る

宮入 幸子	86歳	本町
葦沢 賢司	61歳	坊平
滝沢八重子	95歳	上町
飯森 貞女	86歳	横屋
関崎圭佐子	99歳	矢倉
宮沢あきこ	100歳	坊平
網野 太郎	100歳	明治町